

[Windows、Officeのサポート期限と注意点]

2025年3月8日 河出 修

「はじめに」

長年にわたり使用されてきた「Windows 10」、「Office 2016、2019」が「2025/10/14」でサポートが終了します。この際に「Windows 11」にバージョンアップするのか、「Windows 11」PCに買い替えるのか、また、「Office」は何を選ぶのが良いのかについて解説します。

1. Windowsのサポート期限(個人向け)

Windows の種類		バージョン	サポート期限	備考
Windows 10	Home、Pro	21H2	2023/6/13	サポート終了
Windows 10	Home、Pro	22H2	2025/10/14	
Windows 11	Home、Pro	21H2	2023/10/10	サポート終了
Windows 11	Home、Pro	22H2	2024/10/8	サポート終了
Windows 11	Home、Pro	23H2	2025/11/11	
Windows 11	Home、Pro	24H2	2026/10/13	

2. Windows のバージョン確認方法

- (1)「スタートメニュー」を開く
- (2)「設定」を選択
- (3)「システム」を選択
- (4)「バージョン情報」を確認

Windows の仕様	
エディション	Windows 11 Pro
バージョン	24H2

3. Windows 11の適応条件

- (1) プロセッサ ・1GHz以上で2コア以上の64ビット互換プロセッサ(IntelのCPUでは第8世代以降)
 - (2) メモリー ・4GB以上
 - (3) ストレージ ・64GB以上のストレージデバイス
 - (4) TPM ・TPMバージョン2.0以上 等
- ★注意 ・「Windows 11の適応条件」を満たしていないPCに、「Windows 11」をインストールしたものが「Amazon」、「Yahoo」等で販売されています。このようなPCは「Windows Update」ではバージョンアップされないので、注意が必要です。

4. Microsoft Officeのサポート期限(個人向け永続版)

Office の種類		サポート期限	備考
Office 2016	Personal、Home & Business	2025/10/14	インストールは2台まで
Office 2019	Personal、Home & Business	2025/10/14	同上
Office 2021	Personal、Home & Business	2026/10/13	同上
Office 2024	Home、Home & Business	2029/10/9	同上

★「Office 2024」の「Personal」が「Home」に変更された。

Microsoft Office の種類	含まれるプログラム	Amazon価格	正規価格
Office Personal 2021	Word、Excel、Outlook 他	31,023円	
Office Home and Business 2021	Word、Excel、Outlook、PowerPoint 他	42,980円	
Office Home 2024	Word、Excel、PowerPoint 他	31,023円	34,480円
Office Home and Business 2024	Word、Excel、Outlook、PowerPoint 他	39,582円	43,980円

★「Office Home 2024」には「PowerPoint」が追加され、「Outlook」が無くなった。

★「Office2024」は「Office2021」や「Office2019」、「Microsoft 365」との併用はできない。

5. Microsoft 365(インターネット接続の「Office(AI機能搭載)+ OneDrive(1TB)」

Microsoft 365 の種類	月額料金	年額料金	Amazon料金	備考
Microsoft 365 for the Web	無料	無料	—	Excel、Word、P・P等の簡易版+5GBのOneDrive
Microsoft 365 Personal	2,130円/月	21,300円/年	19,170円/年	同時接続は5台まで
Microsoft 365 Family	2,740円/月	27,400円/年	24,660円/年	同時接続は6人まで

★上記すべてに「Microsoftアカウント」が必要。最新の「Officeソフト」等が使用できる。

★「Microsoft 365 Personal」は同時接続は5台迄(PC、タブレット、スマホ)。1TBの「OneDrive」が付く。

★「Microsoft 365 Family」は同時接続は6人迄。各人には1TBの「OneDrive」が付く。

★「Microsoft 365 Family」は家族または友人間で分け合って使用可能。但し、同時接続は6人迄。

6. Microsoft Office のバージョン確認方法

★ Office 2013 以降の場合

Excel または Word を起動し、「ファイル」タブ → 「アカウント」を開くと表示される。



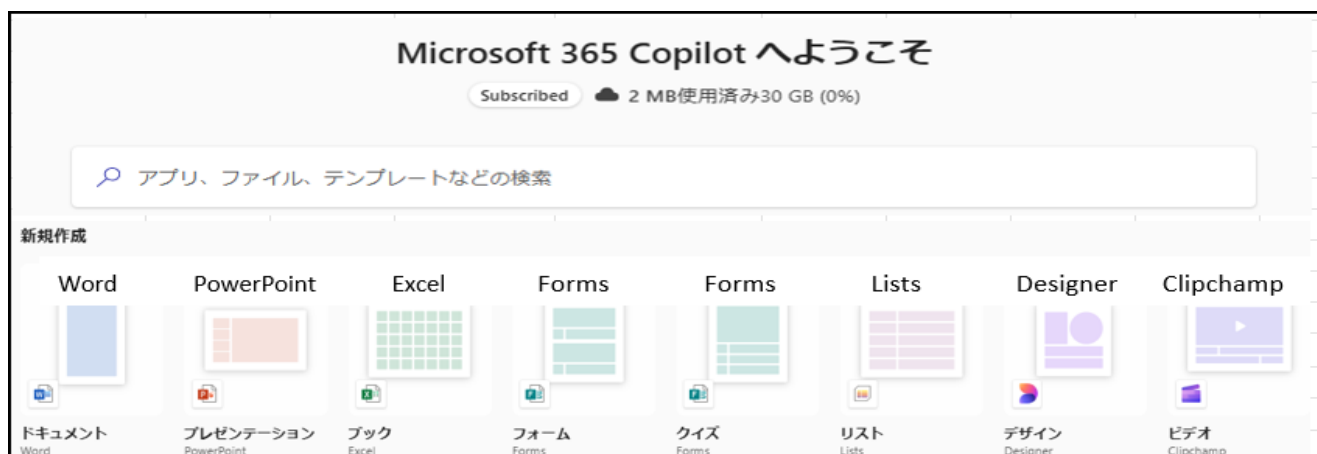
7. Microsoft 365 for the Web (無料版)の利用方法

★「Microsoftアカウント」(メールアドレスとパスワード)を事前に取得しておいてください。

(1) Microsoft 365 for the Web の起動方法

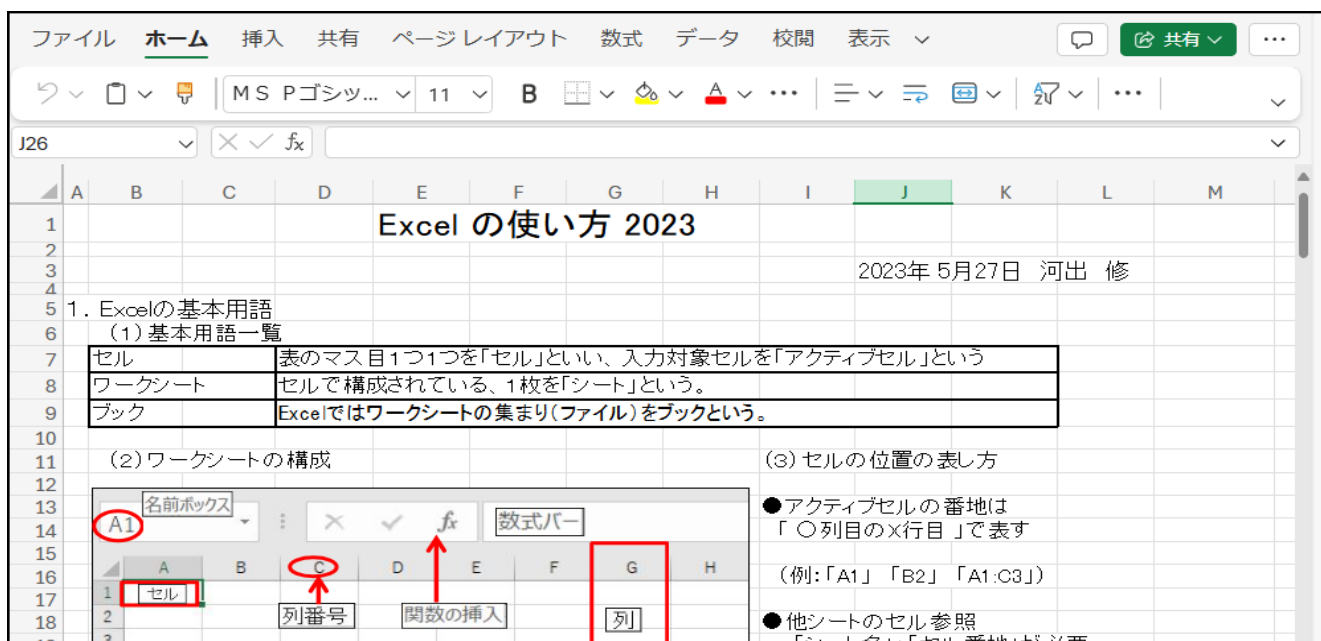
<https://www.microsoft365.com/?auth=1>

★左記URLをクリックすると、「初期画面」が表示される。



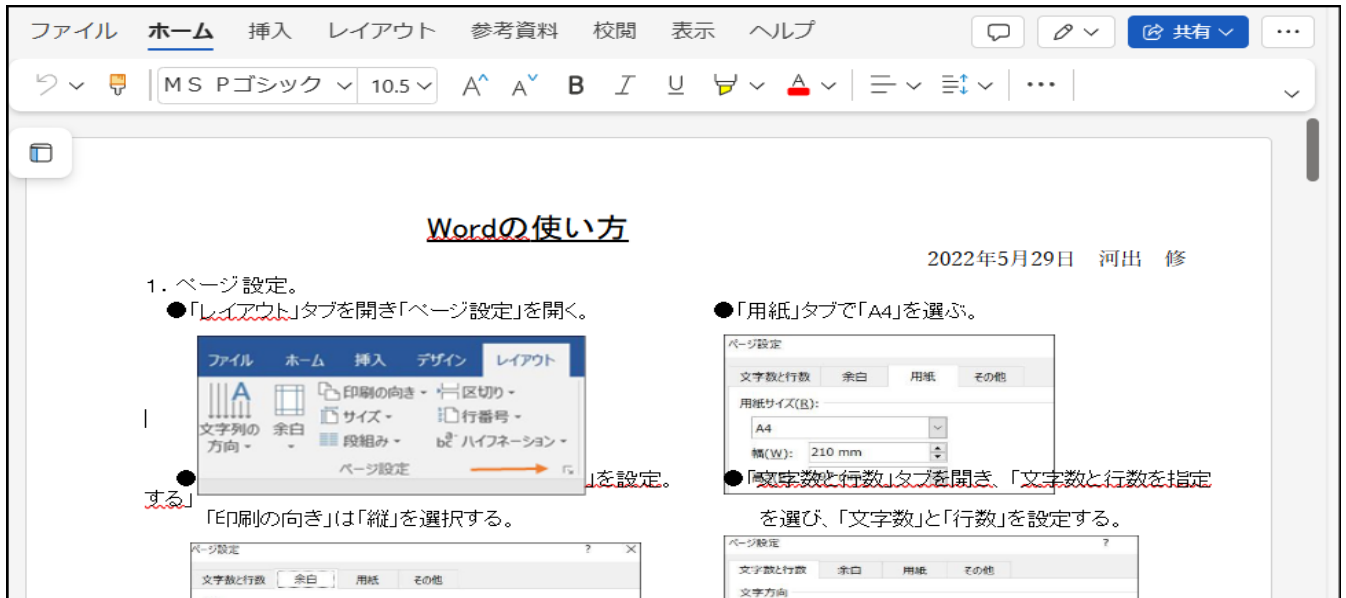
(2) 「Excel(ブック)」の起動方法

・「OneDrive」に入っている「Excel」ファイルをクリックすると、「Excel」画面が表示される。



(3)「Word(ドキュメント)」の起動方法

- ・「OneDrive」に入っている「Word」ファイルをクリックすると、「Word」画面が表示される。
- ・「外罫線」が表示されない、画像がずれる等の問題がある。



(4)「PowerPoint(プレゼンテーション)」の起動方法

- ・「OneDrive」に入っている「PowerPoint」ファイルをクリックすると、「PowerPoint」画面が表示される。



★「Microsoft 365 for the Web (無料版)」は従来の「Office」との互換性に問題あり。

8. オフィスソフトの選択について

(1)Microsoft社の個人向け製品

- ・「Office Home and Business 2024」が望ましいが、非常に高額。(Amazon価格で39,582円/2台)
- ・「Office Home and Business 2024」は「Microsoft 365」と併用ができない。
- ・「Microsoft 365 Personal」は5台まで使えるとはいえ、「Amazon価格で19,170円/年」は高いと思う。
- ・「Microsoft 365 Family」は6人まで使えるので、家族や友人と分け合って使えば「Amazon価格で24,660円/年」は割安な気がする。また、AI機能が使えるのが魅力です。
- ・「Microsoft社」は「Microsoft 365」をすすめているようです。

(2)Microsoft社の法人向け製品の転売品

- ・「Yahooショッピング」等で法人向けの「Microsoft Office Professional Plus 2024」が千円以下で販売されている。これは業者が法人向け「Microsoft Office 2024」のボリュームライセンスを個人に転売しているものです。
- ・この転売品はPC1台にしかインストールできない。インストール作業の認証段階でうまくいかないことがあり、業者のサポートが必要になります。
- ・「YouTube」を見ると転売品は「違法ではない」という記事が掲載されていますが、これは欧州の裁判例です。日本ではMicrosoft社のサポートが受けられないので注意が必要です。